

役員立候補者等 公示

立候補役員名	全道理事						
(ふりがな) 氏名	たかはし みちえ 高橋 通江	性別	男 (女)	生年月日	西暦 1974年11月22日	年齢	40歳
勤務先名	永山地域包括支援センター						
会員番号	22711	市町村	旭川市				
主な活動歴	平成20年度より北海道社会福祉士会道央地区支部の地域包括支援委員や道地域包括支援センター支援委員、平成23年度からは地域包括支援センター支援担当の理事、北海道高齢者虐待防止推進委員として、道全域の高齢者虐待防止に努めています。北海道全域の虐待対応能力の向上と体制構築のため、札幌弁護士会や旭川弁護士会等と連携し活動しております。						
立候補理由・抱負	平成19年3月より、地域包括支援センター(直営・委託)で勤務し、人に寄り添う権利擁護業務の重要性や虐待対応の専門職としての価値、また個別ケースを地域課題につなげていくソーシャルワークの魅力を強く感じました。また、災害支援や虐待対応体制のための他団体と連携した活動を通じ、職能団体として活動する意義や社会資源等構築するソーシャルアクションの必要性を感じております。この魅力ある社会福祉士としての業務を、すべての社会福祉士と共有し、さらに理念と実践をつなげていきたいと思ひます。また先輩方のつちかってくれた社会福祉士の業務をより深くたく確立するため、職域拡大にもつとめます。多職種他機関と協働し、北海道全体の社会福祉士が活躍できる場をつくり、誰もが住みやすく誇れる北海道となれるよう活動していきたいと、立候補いたします。						
推薦者-①	浅野 豊	会員番号	14385				
推薦理由	高橋さんは、地域包括支援センター支援員会の担当理事としてご活躍され、現在、札幌弁護士会と協働で「高齢者虐待対応専門職チーム派遣事業」の窓口となり、その調整やシステム作りにご尽力されております。また、地域の弁護士会を始め他団体からの人望も厚く、地域包括支援センター支援員会にはなくてはならない存在です。 社会福祉士・精神保健福祉士の知識を遺憾なく発揮し、道内各地域での講演活動や研修会の企画運営、日本協会理事とのつながりも強く、高橋さんの活動は、本会にはなくてはならない人的資源であり、理事として適任と思われ、ご推薦させていただきます。						
推薦者-②	石崎 剛	会員番号	11904				
推薦理由	高橋候補は、地域包括支援センター支援委員会担当理事として、北海道や各市町村との連携を通じ、地域包括ケアシステムの構築支援、高齢者虐待防止に関する研修等を通じた専門性の支援、弁護士会と連携協働した虐待防止専門職チームの構築等を中心に、熱心に取り組んでいます。 また、地域包括支援センターに勤務され、日々、忠実に業務にあたり、利用者の個別支援と地域支援を一体的に実践し、多機関からの信頼を受け業務されています。単に業務上の連携に限らず、個人への支援に丁寧に向き合いながら多機関と信頼関係を築く姿は、ソーシャルワーカーとして見習うべき姿だと感じます。 高橋理事が担当している分野は、権利擁護を担う様々な専門職に対し社会福祉士が持つ専門的視座について示し、その存在意義を認知するという重要な意義があると考えます。その専門性と実践力は今後の北海道社会福祉士会の発展に寄与されると考え、理事へ推薦します。						
推薦者-③	今井 敦	会員番号	22951				
推薦理由	現在、地域包括支援センター支援委員の活動の中で一緒にさせて頂いておりますが、研修等、地域包括支援センターの質の向上に関する支援の実績はいうまでもありません。さらにここ数年は「高齢者虐待対応専門職チーム」の体制づくりにも尽力され、実際に「専門職チーム」の派遣が開始されることになりました。この「専門職チーム」ではコーディネーターの役割も担っており、地域包括支援センター支援委員や社会福祉士会会員のみなならず、行政や弁護士会等、他の関係機関や団体からの信頼も厚いと感じております。この取り組みについては今後、全道の各地に広げていく必要があると考えられ、高橋氏の力がますます必要になると感じております。 社会福祉士としての自己研鑽を行い、熱意を持って社会福祉士会の活動に取り組んでおられる方であり、高橋氏が理事になることは社会福祉士会の発展にもつながるため推薦させていただきます。						
推薦者-④	飛世さおり	会員番号	46887				
推薦理由	高橋氏とは現在、地域包括支援センターにて共に勤務していますが、職場での取り組みにおいては、実直かつ懸命であります。また、様々な事例に対しての対応は、社会福祉士のスキルを存分に活かし、的確な視点での対応をされています。地域福祉のコーディネーターとしての役割においても、関係機関との連携や調整の仕方、ケース会議の進行等、学ばせて頂くことが多々あり、他の職員からも信頼を得ております。社会福祉士としての意識が高く、熱意をもった取り組みは、職域を越えて、益々必要とされることと思われ、今後も、各方面での活躍を期待しております。社会福祉士会の発展において必要不可欠な方であり、理事へ推薦させていただきます。						